優良事業改善事例 → 福島再生加速化交付金

<改善点の概要>

- ・福島再生加速化交付金においては幅広い事業メニューがあり、全体の概要を記した1本の行政事業レビューシートのみでは事業の全体像や成果を把握しにくい部分があったことから、当該レビューシートの下に、事業ごとの定量的な目標、事業の内容、資金の流れ等を記載した9つの子レビューシートを作成した。

<選定理由>

- ・本交付金のように多数の事業メニューが含まれる事業のレビューシートにおいて、子レビューシートを作成することで、事業の効果検証を行い易くした事例として選定。
- ・具体的には、事業の全体像や成果を把握しやすいよう9つの子レビューシートを作成し、さらに、一部の子レビューシートにおいてアウトカム指標をより適切なものに改善するなど、不断の見直しを行い、効果検証の前提となる事業の効果の発現経路を整理することで、より効果検証を促せるようにしたものの。
- ・今後は、今回整理した効果の発現経路に基づいて検証を行い、事業の見直しにつなげていくことが期待される。
- ・また、このような多数の事業メニューが含まれる事業における改善事例として、横展開の観点からも選定した。

<選定プロセス>

- ・庁内のEBPM推進チームにおいて、行政事業レビュー実施要領第5部1(1)③を踏まえ、優良事業改善事例の候補事業を絞り込み、上記の選定理由により、本事業選定が適切との結論。

【参考：福島再生加速化交付金について】

＜事業名＞

福島再生加速化交付金　＜予算額（R6年度当初：60,710,000千円、R7年度要求：60,192,374千円）＞

＜事業の目的＞

長期避難者への支援から早期帰還への対応までの施策や、新たな住民の移住・定住の促進、地域の魅力等の情報発信等の施策を一括した、使い勝手がよく、よりきめ細やかなニーズに対応できる交付金を地方公共団体に交付することにより、福島再生の加速化を図る。

＜事業の内容＞

原子力災害被災12市町村等が復興・再生の加速化のために実施する以下の事業について、交付金の交付を行うもの。

- ・ 帰還・移住等環境整備（生活拠点整備、農林水産業・商工業再開に向けた環境の整備、移住・定住の促進等）
- ・ 長期避難者生活拠点形成（長期避難者向けの災害公営住宅整備等）
- ・ 福島定住等緊急支援
（子育て世帯が早期に帰還し安心して定住できる環境整備、
放射性薬剤の研究・開発支援を通じたがん等への健康不安の解消、
地域の魅力等の情報発信を持続的に実施できる体制づくり及び福島県産品等への風評払拭の促進）
- ・ 既存ストック活用まちづくり支援（既存ストック（空き地・空き家等）を活用した被災12市町村のまちづくり支援）
- ・ 浜通り地域等産業発展環境整備事業（福島浜通り地域等における産業発展に向けた環境整備）
- ・ 水産業共同利用施設復興促進整備事業
（本格的な水産業の復興に向け、被災した市町村等が所有する水産業共同利用施設等の整備に対して支援）
- ・ 上記の基幹事業のほか、効果促進事業（基幹事業と一体となって効果を増大させるソフト施策等の事業）